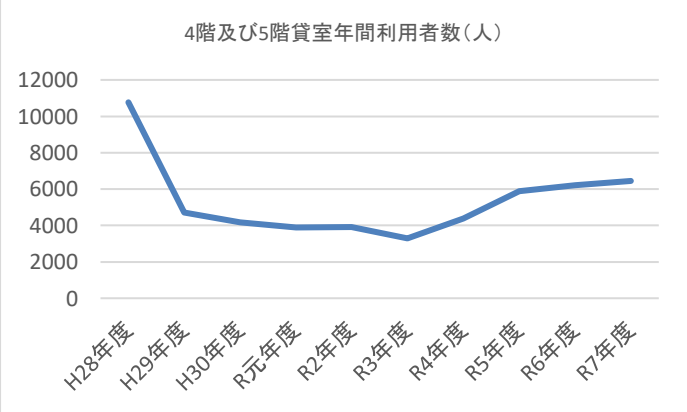


	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	133,674	158,367	180,721	181,689	
	人にかかるコストの割合(%)	94.0	95	88	95.1	
	開館1日当たりコスト(円)	209,596	247,625	283,365	284,883	
	利用者1人当たりコスト(円)	9,589	7,808	8,085	9,025	
	※子育て交流サロン、4階及び5階貸室、サークル室の利用者					
備考	開館1日当たりコストは、行政費用の合計を開館日数で除したものである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	子育て交流サロン等の施設利用者数（人）	目標値	10,000	13,000	14,818	16,200
		実績値	7,847	11,404	12,580	11,332
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ	子ども及び家庭に係る総合的な相談に関する事業、子育てに係る区民活動の支援に関する事業及び地域交流室貸出の継続					
現状・課題	○本建物は、昭和58年に宮地区民事務所として建設され、その後、区民事務所の廃止、宮地ひろば館の開設を経て、平成18年4月以降、子ども家庭支援センターとして管理・運営されていた。（4、5階は地域交流室として貸出） ○令和2年4月に子ども家庭支援センターとしての相談機能は、子ども家庭総合センターに統合され移転し、当該施設は子育て支援課分室となり、子育て支援課分室、子育て交流サロン及び宮地ひろば館となっている。 ○建物については、順次設備等の改修を行っており、令和6年11月から令和7年2月に非常階段等改修工事を実施した。なお、令和8年度は施設のLED化の改修を予定している。 ○引き続きふれあい館ニュープランに基づく整備計画を視野に入れ、必要に応じて所管であるコミュニティ施設課と調整を図っていく。					
課題に対する現時点での考え	○老朽化が進む施設の改修計画を作成し、適正に対処していく。また、将来の施設のあり方について検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度3月より新型コロナウイルス感染防止のため、子育て交流サロンの利用を制限していることから、利用者数が減少している。